

学習指導要領		都立石神井高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代世界の特徴と諸課題の地理的考察</p>	<p>世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 地球儀や地図からとらえる現代世界 地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けさせるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結び付きなどについてとらえさせる。</p>	<p>〔位置、方位、時差〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図を活用して、対蹠点<small>たいとくてん</small>の学習を通じて経緯度について理解するとともに、地軸の傾きによる季節変化、白夜や極夜の発生原因と生活に及ぼす影響、回帰線・極圏について理解する。 時差の計算を理解し、衛星中継や国際線フライトの実例を理解する。サマータイム制度のメリットを理解し日本での導入の是非を考察できる。 <p>〔地球儀、世界地図〕</p> <ul style="list-style-type: none"> メルカトル図法やミラー図法、正距方位図法、ホモロサイン図法などの図法の特徴を理解し、用途に応じて適切な図法を使用することができる。 <p>〔日本の位置と領域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 国境には自然的国境や人為的国境があることを理解する。また、日本固有の領土である北方領土問題と竹島、尖閣諸島の現状について領土問題の相手国の主張の現状、歴史的経緯を踏まえて理解する。 <p>〔国家間の結び付き〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 主題図と統計を活用して貿易や国家群について理解する。 少子高齢化の進む日本にとって外国人観光客の誘致による経済効果の重要性を理解する。交通の発達やインターネットをはじめとする情報の高度化により国際的な人々の交流が促進し異文化理解の重要性が今後増すことを理解する。

学習指導要領	都立石神井高校 学カスタンダード
<p>イ 世界の生活・文化の多様性 世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けてとらえ、その多様性について理解させるとともに、異文化を理解し尊重することの重要性について考察させる。</p> <p>ウ 地球的課題の地理的考察 環境、資源・エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題を地球的及び地域的視野からとらえ、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解させ、それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察させる。</p>	<p>[自然環境と人間生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> プレートの境界の種類により様々な地形が形成されることを理解する。とりわけ日本付近のプレート境界と地震との関連や、アイスランドのギャオの事例からプレート形成について理解する。 世界や日本の主な地形について、その成因や人間生活との関わりを理解できる。 大気の大循環やモンスーンについて理解するとともに、ケッペンの気候区分の分布と特色、気候が及ぼす人々の生活への影響について理解する。 <p>[宗教、民族と人間生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の宗教分布や人口割合を理解する。宗教が生活に及ぼすことを理解する。主な世界宗教、とりわけ今後イスラム圏からの訪日観光客が増加することも踏まえ、イスラム教についての理解を深めるとともに、わが国の信教の自由や宗教による差別撤廃の大切さを理解する。 <p>[世界の諸地域の生活・文化と多様性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地誌分野は、諸資料を活用して、自然地理、人文地理両面から地域を理解する。また、異文化を理解し尊重することの重要性について理解する。 <p>[地球的課題と解決に向けた取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> どのような地球的課題が存在するか、そしてそれぞれの内容について相互に関連していることを理解する。 地理授業の導入で、生徒自身が避けて通れない人口問題について深く考察し、人口問題が他の地球的課題や地理的事項と関連していることを考察する。

学習指導要領		都立石神井高校 学カスタンダード
<p>(2) 生活圏の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 日常生活と結び付いた地図 身の回りにある様々な地図の収集や地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>イ 自然環境と防災 我が国の自然環境の特色と自然災害とのかかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察させる。</p> <p>ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査 生活圏の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによってとらえ、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>[身の回りにある地図の収集と地形図の読図]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街図、道路地図、観光案内図などの身の回りにある様々な地図を収集し、その特徴を理解する。 地形図において、縮尺を用いて実際の距離や面積を計算し、等高線から断面図を作成することができる。土地利用と人間生活のかかわりを理解するとともに、同じ地域の新旧の地形図を比較することで、地域の変容を理解する。 <p>[主題図の作成]</p> <ul style="list-style-type: none"> 用途により土地利用図や階級区分図、図形表現図やイラストマップといった様々な地図を選び活用することができる。地理情報システム（GIS）の活用例を理解する。 <p>[我が国の自然環境の特色と自然災害]</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の地形、気候の特色と過去に発生した主な自然災害について理解する。とりわけ関東圏を襲う地震についての理解を深める。 <p>[自然災害と防災]</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活圏の自然環境について理解し、ハザードマップを読み取り、自然災害の危険性について理解する。 <p>[課題解決のための地域調査]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域調査の方法として直接現地で行う方法と学校の図書館やインターネットなどで文献や資料を利用する方法を理解する。 調査結果を、図表、地図などで表現する適切な方法を選択してプレゼンテーションできる。 	